

■カンボジア：中国系Huadian Power社、33.8万kWの水力発電所建設計画を発表

地元紙によると、中国系 IPP の華電国際電力（Huadian Power）は、このほど、首都プノンペンの西 180km の地点に 33.8 万 kW の水力発電所を建設する計画を明らかにした。同発電所はカンボジア国内の供給用で、今年中に建設を開始し、2014 年の運用開始を予定している。なお、これとは別に Huadian Power 社は、昨年 12 月、カンボジア国内の IPP との建設請負契約も締結している。地元紙は、中国系企業は、2001 年に請負った Kirirom 1 水力発電所リハビリプロジェクトをきっかけに、過去 10 年間、カンボジアでの電力プロジェクトで支配的地位にあると報じている。なお、中国系企業は、2015 年までに運転開始が計画されているほとんどの国内供給用プロジェクトの開発主体となっている。また、2015 年以降にカンボジアからタイへの電力を輸出するプロジェクトである Koh Kong 石炭火力（計画容量 366 万 kW）も、中国企業が建設を受注するだろうと報じられている。カンボジアの電力需要は、今後 10 年間、著しく伸びると想定されており、政府は、国内の発電設備容量を 2008 年の 38.5 万 kW から、2020 年には約 390 万 kW まで増加する計画である。